

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	実 績 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
06426三川町	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	多様な学習機会を確保する上では、学校や行政はもちろんのこと、地域の力や地域の知識がより重要である。しかし、現在のところ学校と地域が直接的且つ恒常的に関わりあう体制が確立しておらず、事業実施の持続可能性が乏しく、教員の負担も大きくなっている。	本町においては、社会教育係職員が地域コーディネーターを担っており、学校と地域を円滑につなぐことが可能であることから、学校において地域力を活用した学習の計画があった場合の一次窓口を担う。	町内の4小中学校すべてに担当のコーディネーターがあり、町の施設に常勤している。学校の教員から直接コーディネーターに電話が入ったりしている。もっと連携を密にし、学校と地域の関係が深まるようにする。	地域のコーディネーターが学校と地域をつなぐ中核的な役割を担うことにより、教員の労力軽減と地域力の効率的活用を図り、学校と地域が一体となって児童生徒の効果的な学習機会を担保できる環境を創っていく。	年間の学校と地域の学習機会のうち、本来教員自らが地域の人材や能力発掘に係るものを、地域コーディネーターが担うことにより労力軽減につながった割合。	10	%	20	20	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 町内各学校担当のコーディネーターが、社会教育係に在る。各学校の教頭先生からだけでなく、教員から直接コーディネーターに依頼がくる割合が増えた。さらに学校に対して、コーディネーターをアピールしていきたい。	https://www.town.mikawa.yamagata.jp/kurashi/gakusyu/mokuhyousettei.html	